

# 緑の相談所だより

— 68号 —

2001. 2. 1 発行

編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所

## 果樹と樹木の剪定

日時 2月25日(日)  
午後1時30分～3時30分  
講師 旭川市緑の相談所  
相談員 佐野 元雄  
定員 50名 参加料 無料

## 草花と野菜のタネまき・苗作り

日時 3月4日(日)  
午後1時30分～3時30分  
講師 旭川市緑の相談所  
相談員 佐野 元雄  
定員 50名 参加料 無料

## 講習会のお知らせ

### 洋らん春・夏の管理

日時 3月11日(日)  
午後1時30分～3時30分  
講師 旭川らん友会  
会長 笠原幸三さん  
定員 50名 参加料 無料

### 庭木・花木の病虫害防除

日時 3月25日(日)  
午後1時30分～3時30分  
講師 旭川市緑の相談所  
相談員 佐藤 文男  
定員 50名 参加料 無料

お申し込み・お問い合わせは 旭川市緑の相談所 ☎65-5553

## セツブンソウ *Eranthis pinnatifida* (節分草)

キンボウゲ科 球根(塊茎)性の多年草。

日本、中国東北部から朝鮮半島、小アジア、ヨーロッパなどに分布。

陰暦の節分のころから咲きはじめるのでこの花名がある。

開花期 2～3月。花径 2cm、草丈 5～15cm。

花色は白、葯は赤紫色で花弁(じつは萼片が花弁化したもの)の白とよく映える。

水はけのよい用土を好む。開花までは日なたに、後は半日陰に置く。

葉が枯れるまで液肥を与え球根を充実させる。





コブシ  
モクレン科。細かい毛のある鱗芽。



ソメイヨシノ  
バラ科。多数の鱗片が重なる。

ホオノキ モクレン科。1枚の鱗片が全体をつつむ。



ニワトコ スイカズラ科。鱗芽より太い花芽。



樹木の冬芽は  
大きく分けると、葉の変形した鱗片が魚の鱗のようになっているもの、細かい毛のあるもの、表面に油のような液をつけたものなどに分けられ、鱗片が1枚か、2枚か、多数かと分けることもできる。

### 冬芽



トチノキ トチノキ科。鱗片は表面に粘液をつけている。



コナラ ブナ科。鱗片が十字対生する。



アカメガシワ トウダイグサ科。鱗片状毛のある鱗芽である。



オニグルミ クルミ科。褐色の短毛が密生する鱗芽。

### 葉痕のいろいろ

葉の落ちたあとを葉痕または葉印という。一つの葉が活動期間を終了すると、葉柄の基部に離層が形成されて葉は落ちるので、葉痕の形は、葉柄が茎に接していた面の形を残したものである。



オニグルミ



カラスザンショウ



キハダ



クサギ



ニセアカシア



ネムノキ

## 春を待つ～ 2月・3月の園芸作業

雪は深く厳しい寒さが続いておりますが、日は少しずつ長くなり、日差しも日増しに強くなってきます。室内の弱い光線で我慢していた植物も元気を回復し、また冬眠中の植物も目を覚ます時期になってきます。春はすぐ来ます、雪解けを待ちながら春作業の準備をしましょう。

雪が解けるまでの間に庭の花壇の設計、野菜の作付け計画等準備をすすめておきましょう。

### ○ 鉢花等の管理

- ・ この季節になると晴天日の窓際には注意が必要です。温度が急上昇し、萎れ、葉焼け、蕾を落とす等の原因になります。またその夜は極端に温度が下がる場合が多く、昼夜の温度差が大きすぎると植物を弱らせます。遮光、換気、保温の操作で適温を保つよう心がけます。
- ・ ゼラニウム等の草花類、ハイビスカス等の花木類は切り返し、新芽を発生させ再生します。観賞期間の済んだポインセチアも同様切り戻しておきます。
- ・ シクラメンは高温に注意し、咲がらを手まめに取り、肥料も時々与えますとまだまだ長持ちします。
- ・ 花後のアザレア、鉢植えの梅などは新芽の発生にはまだ早すぎます。涼しい場所で水を控えて生育を抑えます。
- ・ 休眠中のクンシラン、鉢植えアマリリス等、徐々に暖かく明るい窓辺に移し活動開始です。
- ・ 観葉植物は低温乾燥気味で管理しながら4月まで生育を抑える方が無難ですが、新芽が伸び始めるようでしたら光線がよくあたる場所に移動し水と肥料を与えます。ベンジャミン、カボック、ポトス等この時刈り込み、剪定などで形を整えます。カイガラムシにも注意しましょう。葉がべとべとしてきたら葉裏、若い幹についているカイガラムシを歯ブラシ、綿棒などで丹念に取ります。(室内での葉散は控まよう)
- ・ 植替えについて ～ 多くの鉢物は春が近づくと休眠状態を終え、または開花した後に新芽、新根を伸ばし生育活動が始まります。この時期が植替えの最適期となります。長い間植替えをしなかった観葉植物、花が終わった洋ラン類など植替え適期が近づきました。

### ○ 種まきと苗作り

- ・ 花壇用草花、野菜等の苗作りを試みてはいかがでしょう、育てる楽しみが一層深くなります。サルビア、ペチュニア、マリーゴールド等花壇用草花、トマト、ナス、ピーマン等ナス科の野菜は3月下旬から種まき開始です。苗を育てる期間は概ね定植まで50～60日です。市販のビートパン等利用し種をまき、育ち方に応じ1～2回り大きさに合ったポットに移植、一番日当たりの良い場所で管理します。
- ・ ベコニア(センバ)、インパチェンス等は室内に取り込んで越冬させた株から挿し木で苗を作ります。比較的簡単に増やせます。

### ○ 果樹、庭木の剪定

- ・ 厳寒の季節が過ぎ、3月に入ると凍害の心配も少なくなり、樹形もよく観察できますので多くの樹木の剪定適期となります。但し、カエデ類、ブドウ等は根の動きが早く樹液が溢れて止まらずそのまま枝枯れする危険が大きいのでこの時期を避け、秋の落葉直後に済ましておきます。
- ・ 庭木類は不要な枝を除き形を整え、また新梢の生長を促すことが目的です。
- ・ 果樹類は日陰のつくる枝、細い枝を間引きし、枝葉全体に光線がよく当たるようにし、来年のための良い花芽を育てることが目的です。

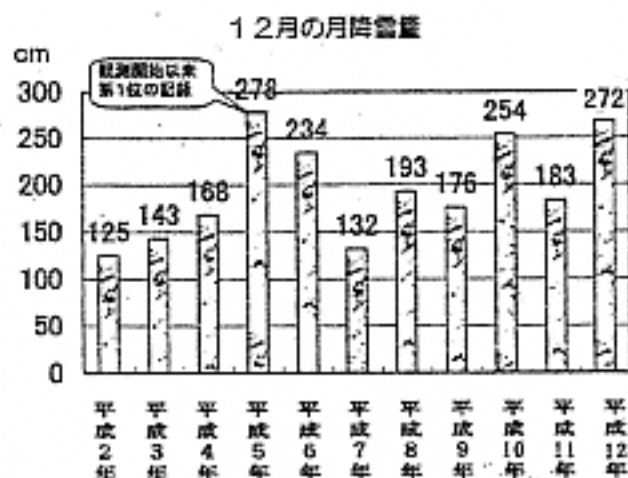
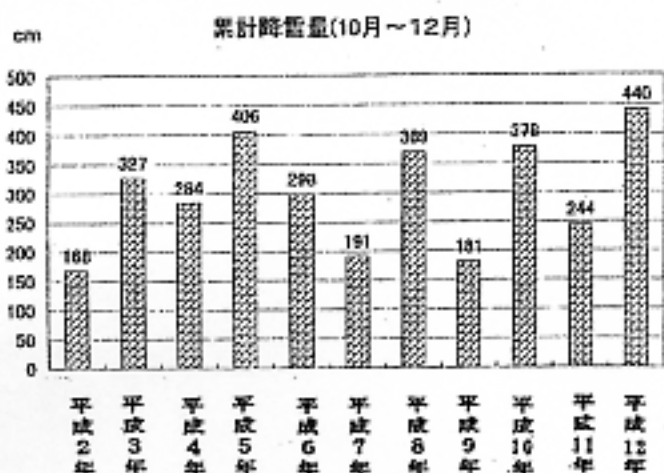
# 12月までの累計降雪量 旭川で記録更新

旭川地方気象台

旭川では今冬（10月から12月まで）の累計降雪量が440cmとなり、（昭和28年の統計開始以来）第1位となりました。

また、12月の降雪量は272cmで、平成5年に観測した278cmに次ぐ、（昭和28年の統計開始以来）第2位の記録となりました。

## 過去11年間の旭川の降雪量



【この記録的な多雪が夏季間の気象にどう影響するかが注目されるところである。】

## 旭川の積雪の推移

